

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業				部局	農政部	課・室	農業技術課	
					実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標	①労働生産性								
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保						

1 現状と課題

・農業大学校の学生に占める県外出身者の割合は増加傾向にあり（16.7%（2018年）→34.9%（2022年））、卒業生の県内定着率も高いことから（R2卒業生93%）、県農業を支える人材の呼び込み・育成に貢献している。一方で、就農者が減少している中、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。

・このため、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、更なる人材の確保・育成に向けた取組の強化が必要。

2 事業目的

農業改良助長法に基づき、農業の専門的知識・技術及び人格を備えた農業経営者及び指導者が養成されるようにする。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実・強化
- ・最新の知見を教授するため、研究開発の第一人者によるスマート農業の講義を実施
 - ・GPSトラクターや自動運転田植え機等のスマート農業機械の稼働体験や効果的な運用方法を習得を図るため、スマート農業推進事業（実践講座）を開催
- ② 新規就農里親、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催
- ・新規就農者を養成するため、「新規就農里親前基礎研修」や「就農体験研修」を実施
 - ・就農希望者等のスキルアップを図るため、大型特殊自動車及びけん引免許取得を支援
- ③ 「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保する取組を支援
- ・移住者等を支援するため、「農ある暮らし入門研修」を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	農学部 卒業生就農率	%	50.8	53	↗	55	↗	67	未達成	本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定し、R4年度は67%を達成目標とした。	
②	研修部 けん引免許取得率	%	98	98	→	97	↘	90	達成	研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多いけん引免許の取得率を成果指標に設定し、ほとんどの受講者に免許を取得させる90%を達成目標とした。	
③	研修部 大型特殊免許取得率	%	100	99	↘	100	↗	95	達成	研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率を成果指標に設定し、ほとんどの受講者に免許を取得させる95%を達成目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	11,176	69,944	4,759	85,879	48,364	78,477	30.0
R3年度	0	69,622	12,171	81,793	43,504	67,671	30.0
R2年度	0	72,900	△ 303	72,597	45,655	68,133	30.0

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

6 主な取組実績と成果

〇AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化

・農機メーカーと共同でスマート農業技術に関する講義を4回実施し、学生にAI・ロボット技術等を学び、先端技術に触れていただくことができた。

〇新規就農里親前基礎研修、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催

- ・新規就農里親前基礎研修(通年)を実施し、4人が受講。受講者は前年度より増加。(R3: 1人)
- ・就農体験研修を6回実施し、延べ44人が受講。前年度を上回る回数を実施し、より多くの人に就農体験をしていただくことができた。(R3: 3回、延べ25人)
- ・農業機械利用技能研修(12回、246名受講)等を実施し、244名が免許を取得した。

〇「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保する取組を支援

・栽培技術の基礎知識、田舎暮らしのための座学、視察といった農ある暮らし入門研修を7回開催し、延べ37人が受講。前年度より開催回数を増やすことにより、より多くの人にさまざまな体験していただくことができた。(R3: 1回、5人受講)。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	農学部 卒業生就農率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
農業法人等合同説明会の開催や先進農業者からの講義の実施などにより、農業の魅力をPRしたことで就農率が55%と前年度より増加したものの、農業関連団体を始めとした将来的な就農に向けた就職を希望した学生が一定程度いたため、目標値の67%を下回った。							
指標②	研修部 けん引免許取得率	R3年度推移	→	R4年度推移	↘	達成状況	達成
研修生への丁寧な指導により、研修部のけん引免許取得率97%となり、目標値の90%を上回った。							
指標③	研修部 大型特殊免許取得率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↗	達成状況	達成
研修生への丁寧な指導により、研修部の大型特殊免許取得率100%となり、目標値の95%を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・卒業後の就農率については増加傾向にあるが、引き続き、農業大学校アドバイザーボード等からの助言を得ながら農大改革を進め、カリキュラムの充実など、学生の就農意欲の向上に向けた取組の強化が必要である。
- ・けん引免許及び大型特殊免許は、就農後の営農に必要となるため、研修の実施等、取得に向けた支援を実施していく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・先駆的農業者だけでなく、若手の就農者の助言を受ける機会を設けることで、学生の就農意欲の向上や就農計画の具体化を図る。
- ・人口減少・少子高齢化が進む中、次代の県農業を支える人材を養成するため、カリキュラムや学びの環境といった農業大学校の魅力を高めつつ、それを幅広くPRすることで、県内外から意欲ある学生を呼び込み、県内の農業職への定着を推進していく。
- ・研修部では、けん引免許や大型特殊免許といった実践的技術に加え、各種研修を通じて農業者へスマート農業を普及も図っていく。

事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	農業大学校運営費	48,949 千円	46,281 千円	49,942 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校運営費	直接	平成26年度から新設した実践経営者コース入学生及び既存コースの学生に対し、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施 総合農学科生84名を指導	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	実科・研究科費	6,064 千円	8,193 千円	6,254 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	実科・研究科費	直接	主に生産基盤を持つ農家出身者に対し、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施 実科研究科生47名を指導	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	研修部費	7,171 千円	9,919 千円	20,965 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械利用技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のため、研修を実施 農業機械利用技術習得研修8回を開催、のべ79名参加	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	農業大学校施設設備費	5,949 千円	3,278 千円	1,316 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校施設設備費	直接	学生がより快適に生活できるよう施設を改修 松代キャンパスの本館、共用棟のトイレ改修工事を実施	